

# 故障かな?と思ったら

ご使用方法は取扱説明書をよくお読みいただき、お問い合わせの際はこちらをご覧ください。

お手入れや部品交換がしやすく、長くお使い頂けるように商品設計されています。

吸気不良やシール不良等、故障の際は下記手順をご確認ください。確認をして頂く事で簡単に改善する場合があります。

使用方法の動画も参考にして下さい。



吸気しない ⇒ 【A】



トップカバーを閉める  
のが硬い ⇒ 【E】

ノズルレバーが硬い ⇒ 【F】  
ノズルレバーの戻りが悪い ⇒ 【F】

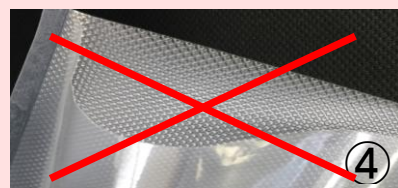
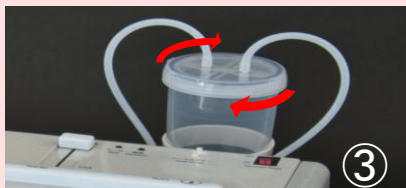
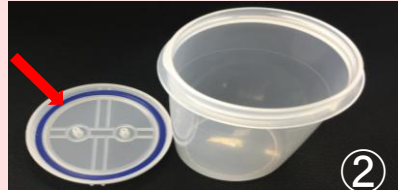
シールができない ⇒ 【C】  
シールが不十分 ⇒ 【D】

# チェック項目

## 【A】 吸気しない

(A-1) 正しいセッティングができているか確認します。

- ① トップカバー内側の黒いスポンジはつけたままで使用してください。  
外してしまうとトップカバーを閉めた際に袋がしっかり密閉されず、吸気がうまくできません。
  - ② 集水タンクのカップの内側に青いゴムパッキンがついているか確認してください。
  - ③ 集水タンクのカップをあげ、もう一度しめなおしてフタが正しく閉められているかを確認してください。  
噛み合わせがずれている等、フタが正しく閉められていないと吸気できません。
- ※ きつく締めすぎて噛み合わせがずれても空気もれが起きてしまい、うまく吸気できません。
- ④ 袋は内側にエンボス加工のない、表面の平らな袋を使用してください。  
エンボス加工のされた専用袋は使用できません。



(A-2) 付属のノズル清掃器具でノズルを掃除します。

- ① 付属のノズル清掃器具でノズル内を掃除してください。
- ② 付属ノズルで汚れが十分に取れない場合は、本体後部のキャップと、内部の黒いキャップを外し綿棒などで掃除する事が出来ます。



(A-3) お湯を吸わせ本体内部のチューブを掃除します。

- ・ 集水タンクをセットして下さい。
- ・ 袋にぬるま湯(50℃以下・200cc以下)を入れ、お湯を吸い込ませます。



清掃作業方法 ★You Tube 動画★

<https://youtu.be/WqCsOrYNWv8>



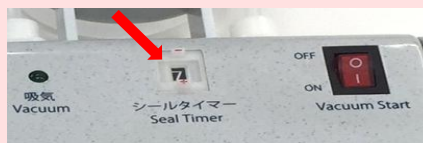
(A-4) 吸気の際の作業方法にはコツがあります。是非お試しください。

→ 吸気作業のコツへ【コツ1】へ

## 【C】 シールができない

(C-1) 袋の厚みに合わせ、シールタイマーの設定を調節してください。

メモリ目安 / 真空袋：7 ポリ袋：4



(C-2) ヒーター線を確認してください。

- ・ テフロンテープを剥がしヒーター線が切れていないか確認してください。ヒーター線が切れている場合は付属のヒーター線に交換する事ができます。

➡ ヒーター線部品交換【交換1】へ



(C-3) トップカバーのシール部分を確認してください。

- ・ シール部分に汚れなどが付着している場合はきれいに掃除してください。
- ・ シールクッションやスポンジが劣化している場合はシールがうまくできない事があります。



(C-4) シール方法を確認してください。

- ・ 十分に脱気ができた後にシールバーを押しますが、必ず両手で強く押さえてください。シールバーを押えると同時にノズルレバーが戻ります、そのままシールバーを強く押さえ続けてください。(右図参照)
- ・ シールバーを押さえ続けるとシールタイマーが作動し、ピー音が鳴り始めます。そのまま押さえ続けていただくと、ピー音の鳴る間隔が速くなり、完成です。

**必ずピー音が速くなるまで押さえ続けてください。**



## 【D】 シールが不十分／シールにシワができる

(D-1) 設定や部品の状態を確認します。

- ・ シールバーをしっかりと押さえてもシールが不十分の場合は、シール部分の確認をしてください。

➡ (C-1、C-2、C-3、C-4)へ

(D-2) きれいにシール作業をするにはコツがあります。是非お試しください。

- ・ セットする際やセットした後に袋を調整することできれいにシールできる場合があります。

➡ (コツ2)へ

## 【E】 トップカバーを閉めるのが硬い

(F-1) 低めの作業台に本体を置き、片側ずつ、体重をかけるように閉めてください。

- ・ 袋へ空気が入らないようにするため、トップカバーは強く固定する必要があります。
- ・ 両側を同時に押さえる必要はありません、片側ずつ、上から体重をかけて押すように閉める事で楽に閉めることができます。

## 【F】 ノズルレバーが硬い・ノズルが戻りにくい

(G-1) 使用始めはノズルを出すのが硬い場合があります。

- ・ 十分なバネの強度を考慮しているため、使い始めはノズルを出すのに硬く感じる場合があります。
- ・ 何度か繰り返し使用していただくことでスムーズな動きになります。

(G-2) タイミングをわずかにずらして、シールバーの①②の部分を押すとうまくノズルが戻ります。

- ・ 片手でシールバーをおしたり、早く押しすぎたりするとノズルがもどりにくい場合があります。

# 真空パック作業をする時のコツ！

※使用方法の動画も参考にしてください。

DUCKY 真空パック器 動画

検索



## 【コツ】 空気をきれいに抜く為に

(コツ1) 空気の通り道をノズル方向に作ってあげます。

- ① 袋をセットした後、内容物をノズルの近くに近づけます。
- ② ノズル口に袋が密着し空気が抜けにくくなる場合は、ノズル周辺の袋を親指と人差指でつまみ、擦り合わせるようにすると空気が抜けやすくなります。
- ③ 内容物に対し袋が大きすぎる場合は吸気がしにくくなります。袋のサイズを変更していただくか、あらかじめ手でおおまかに空気を抜いていただいてから作業を始めてください。



(コツ2) シールをきれいにするには

- ・ 袋をセットしトップカバーを閉めた後、袋を左右に広げるようにひっぱります。
- ・ シールが弱い場合は、シールタイマーでシール時間を調節して下さい。
- ・ 一定の力でシールバーを押し続ける事できれいにシールができます。

(コツ3) 低めの作業台に本体を置き、片側ずつ、体重をかけるように閉めていただくと楽にできます。

- ・ 一定の力でシールバーを押し続ける事できれいにシールができます。

# 部品交換方法

## 【交換】 ヒーター線、テフロンテープの交換方法

(交換1-1) テフロンテープを剥がします。

- ・ 古いテフロンテープを剥がします。剥がした際は粘着汚れを掃除してください。

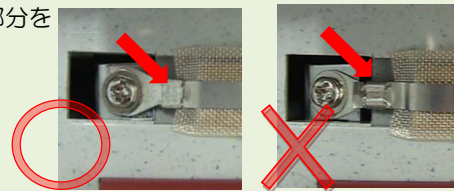


(交換1-2) ネジをゆるめ、ヒーター線を取りはずします。

- ・ 左右のネジを外しヒーター線を取り外してください。
- ・ ヒーター線はテンションがかかった状態でネジとめされていますので、ネジを外す際はご注意ください。

(交換1-3) ヒーター線を取り付ける。

- ・ ヒーターには裏表があります。平らな面を上にして取り付けて下さい。
- ・ ヒーターにテンションをかける為、取り付けの際は取り付け部分をマイナスドライバー等で内側に寄せた状態でネジを締めます。



(交換1-4) テフロンテープを貼ります。

- ・ 汚れが無いことを確認し、テフロンテープを貼りつけます。